

神奈川ウォーキング参加 平成26-22



日時 : 平成27年3月7日 (土)

集合 : 小田急六会日大前 9:45 出発10:00

コース : 六会日大前駅→境川遊水地情報センター→天王森泉館→天王森泉公園→俣野公園→相州春日神社
→花應院→飯田牧場→東俣野中央公園→翠ヶ丘公園→遊行寺→藤沢駅 20,000歩 14km
(伊藤自宅含め24,500歩)

参加者 : 平嶋L・平野SL・中村年SL (高橋文L急な事情で六会日大駅前集合までで御帰宅)

【班長】5班落合10名 6班藤原和9名 7班深瀬9名 (NOカード在庫の関係で5・6・7)

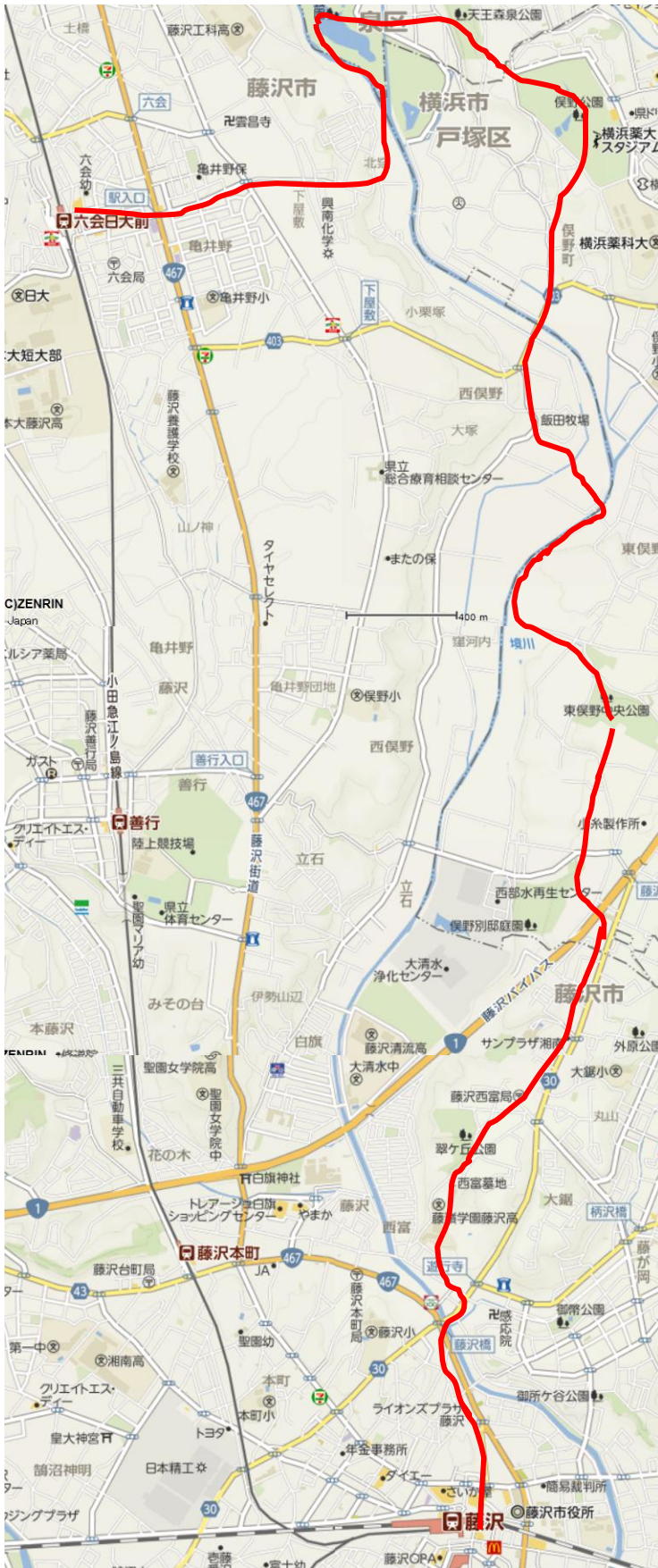
・佐藤伊・勅使河原・常盤・神谷・平石一・熊坂・大平・奴田・伊藤真・小野里・青松秀・佐藤繁
・高林・河野・清水修・中嶋・市村・草野・平林勝・小島ま・塩川・藤沼 (一般) 合計28名
(会員NO順)

天候 : 小雨後曇り

【六会日大前駅】高橋文Lお迎え 平成24年1月18日 (水) 大平Lで降りた駅です。↓駅から見た日大



【ウォーキングコースマップ】



藤沢市の今日のコースは六会日大前駅^{ろくあい}から東に向かい、境川の境界を越えて横浜市戸塚区に入る。

「天王森泉館」から南下して「天王森泉公園」「俣野公園」「東俣野中央公園」「翠ヶ丘公園^{みどりがおか}」と公園めぐりし、遊行寺を経て藤沢駅に向かう平坦コースです。

藤沢市引地川の西は茅ヶ崎、横浜市戸塚区の南藤沢市東は鎌倉市と4市が集合する地点です。

戸塚区は標高20～50mの起伏のある高台です。六会日大前駅を出るときは小雨。傘さしウォーク。

境川に向かって歩くと、横浜医科大学の図書館が目立つ。(21階建て70m)



庭木の梅を眺めながら歩く



10:22小雨も上がり境川へ



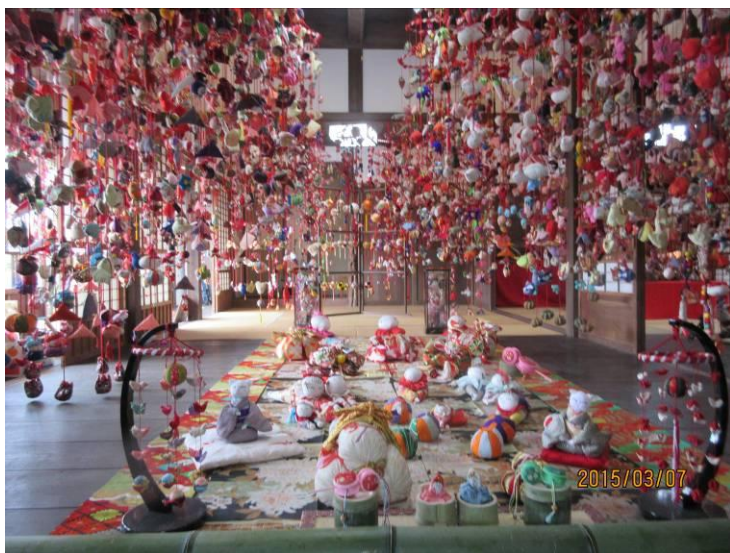
境川を遊水池橋で渡る、流石に濁っている「境川遊水地情報センター」に立ち寄り休憩。以前来たことあり。



見覚えのある鷺舞橋（大平コースで集合写真）を見なが「天王森泉公園・森泉館」へ向かう。



【天王森泉館】環泉川沿いに広がる水田、それを縁取る斜面傾斜緑地、泉区台地の崖線から湧水を活かして、流域には20になる製糸工場があったようです。約35,000㎡の公園の一角に製糸工場の本館が再生されたのが「天王森泉館」で、丁度「吊り雛アート展」開催中でした。



裏庭には湧水が有りワサビも生育中でした。しだれ梅を背景に、熟女雛に長老が加わりパチリ！合羽の色もあざやかです！

マンション前で平石夫人お迎え、久しぶりです。【メモリアルグリーン】墓地です。ここも体験済みです



【メモリアルレストハウス】 11:45~12:30 8,000歩 ここで昼食

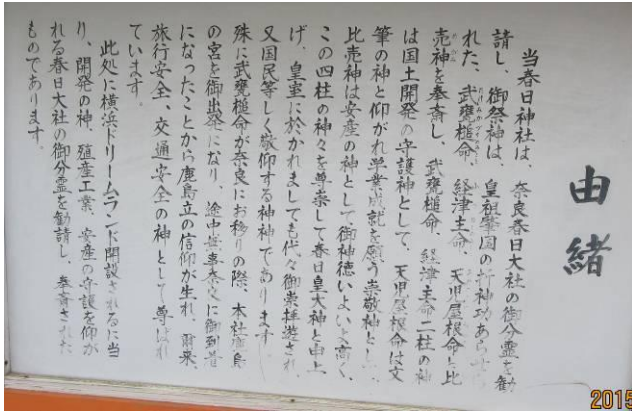


椅子テーブル付き昼食、飲み物自販機あり申し分なし。墓地の申し込み希望者は多いようです



【相州春日神社】朱塗りの鮮やかな神社です。やはり奈良春日大社の御分霊。↓鹿の清水 龍では有りません。





裏庭には鹿が飼われていました



「鏡ないの？」奥殿に有りましたが入れません。飯田牧場に向かいますが、横浜医科大図書館が又見えました。



崖小川沿いを歩き、平坦地に出ると枝ぶりの良い梅が綺麗な庭の傍、生き生きした緑が春を告げる畑道を歩く。



田園の風景、黄緑が目立ちます。

梅林こちらは梅干栽培用か？

この木なんの木気になる木



今日のテーマ～“春の息吹が聞こえます”～ 雨にぬれて一層生き生き～

【飯田牧場】1968年牛乳生産創業。乳牛がいますがお座り。アイスマルク（ジェラード）は1995年発売。



牛乳が飲みたかったがKWC軍団で売り切れ、

↓伊藤注文

【花鷹院】曹洞宗 1604年開山国境、開基祖桂。「小栗判官」の中に出てくる小栗判官と照平姫の馴れ初めに係わる伝説の発祥の地。飯田牧場目前に有り伊藤代表して参拜。



～小栗判官と照手姫の伝説～
 小栗判官とは、常陸国の小栗満重。
 満重は、鎌倉公方の足利持氏に対して反乱を起こして敗れ、10騎の従者とともに三河国へと逃れようとした。
 途中、相模国の横山大膳の家に宿をとったが、大膳は盗賊だった。
 大膳の家には、照手姫という遊女がいて満重と恋仲になる。これに怒った大膳は、人を喰らうという「鬼鹿毛」という馬に満重を乗せて殺害しようとするが失敗。しかし、今度は満重主従に毒酒をすすめて殺害した。そして、満重の財宝を奪い、満重主従11人の死体を上野原に捨てたという。
 このことを閻魔大王の夢のお告げで知った遊行上人が上野原へ行ってみると、11人の死体があった。しかし、満重はまだ息があったので、熊野本宮へ送り、湯に入れさせてもとの体に戻したという。
 全快した満重は、横山大膳を処刑し、美濃国青墓で遊女となっていた照手姫を捜し出して結婚したという。
 満重の死後、照手姫の建てた草庵が遊行寺塔頭の長生院だと伝えられてい

(遊行寺にも関係あるお寺のようです。)

木造閻魔大王とその体内仏「石造閻魔大座像」は市指定文化財。↓(写真HPより引用)



田園農道を通り境川金沢橋に出て、境川沿い道を下る。



この境川遊歩道はKWCウォークで数回通っている思い出の道。雲の合間に青い空も見えてきた。

野菜無人100円ショップ、旦那さんもお買いもの。赤が目立つ庭木

東俣野中央公園に向かう石段登り



【東俣野中央公園】1995年開園。約5万㎡有り、「ジャックと豆の木」をテーマに作られた、大人のための運動公園。標高46mの高台で眺めもよいが今日は曇り。14,000歩
石段途中にモニュメントあり。石段直進組、段数数えながら・・・石段すぐ脇道には綺麗な黄色の木



梅林の方へ廻ると緩やかな坂道です

広いグラウンドでシャワールームもあります



この当りから地元平石さんと藤原さんのガイドで、「翠ヶ丘公園」に向かうが「俣野別邸庭園」を覗いてみる



【俣野別鄭庭園】 5, 8 h r. 1939年住友財閥第16代住友吉左衛門友成の別荘として建築された。



2009年老朽化した母屋を復元中に全焼、現在復元工事中。時間なく覗くだけ、通り抜けるできない。1号線陸橋を越えて「翠ヶ丘公園」に向かう。30号線に「鉄砲宿」というバス停あり。町名は「影取町」面白いので調べてみました。(P10参照)

【^{みどりがおかこうえん}翠ヶ丘公園】 遊行寺の裏山一帯のなだらかな丘陵地の自然地形を活かした芝生公園

平石さん「突き抜けて、降りられますよ～今日最後に面白く探検」「熟女も急斜面を下り頑張ります」



熟女が大丈夫なら、長老組も負けられません。湧水も有り。出口に「西富・憩いの森」看板がありました



【遊行寺】 門前で集合写真 全員無事完歩。



佐藤伊さんによるクールダウン。平嶋Lから「お疲れ様でした。ここで開散します。20,000歩14kmとします。遊行寺参拝の方はどうぞ。アフター希望者は駅前・庄や」です。



「ゆぎょうぼし」を渡り東海道五十三次の道を歩く



東海道五十三次 藤沢宿



東海道五十三次はKWCで田村さんが企画し、制覇達成された思い出のコースです。特に遊行寺前の通りは藤沢宿で賑やかであったでしょう。江戸時代にタイムスリップしてみたいものですが・・・

【アフターin 庄や】 15:30～17:30 高橋文さんが手際よく予約して戴いたお店で、以前来たことがある3F。希望者14名男性群テーブルは注文Aさんにお任せ。次の予約が有り17:30お勘定締めるが、我がテーブルは予約なしOK。日本酒を少しやりましょう！K・S・Iの3名で「やはり日本酒はいいですね～」



18:20で切り上げ健康的な時間に帰宅できました。



編集後記：「春の息吹が聞こえる公園へ」良きテーマをつけられました。天気予報曇り時々小雨、部分的には体験済の所でしたが平坦地の公園めぐり、高橋文さんLでメタポ対策も兼ねて参加。結果スター小雨だけで後はOK。タイトル通り「春の息吹」を堪能させて戴きました。高橋文さん企画段取り、代役平嶋L、中村年SL、平野SL、それと地元藤原和、平石一の各位様案内役有難うございました。

いつものポケ防止用日記帳「メモと写真」です。最初小雨降りカメラレンズに水滴が付いていた写真もあり、又曇デジカメオート撮影で、画面暗くなり、出来栄えもよくありません。失礼な記述や誤記が有るかもしれませんが、悪しからずお許しの程。文中説明文はHPから引用しました。

追記：「鉄砲宿」と地名「戸塚市影取町」の由来として伝わる面白いお話



踊り念仏（踊りながら念仏を唱える）で知られる時宗総本山遊行寺近くの森と云うお金持ちの家で「おはん」と云う名の大蛇が飼われていた。あまりに大喰いなので近くの池に捨てたところ、空腹のあまり池に映る旅人の影を飲み込むようになった。「影取池」と呼ばれるようになって、現在も「影取町」の町名で残っている。そして影を取られた人は数日のうちに命を落とすと云う噂が広まり、困り果てた村人たちが、鉄砲の名人に退治を頼む。名人が池に向かって「おはん」と呼びかけると、懐かしい森家から迎えが来たと思って大蛇が姿を現した。そこを狙って鉄砲が放たれ大蛇は殺された。現在の「鉄砲宿」の地名です。